

日刊 勤労千葉

86.12.9

No. 2427

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

協働・千葉勤労 将棋大会 開催

勤労千葉・サークル協主催の第七回囲碁・将棋大会は、十一月二四日、十時より動力車会館において開催されました。

水野副委員長より挨拶を受け、競技に入りました。競技終了後、表彰式が行われ、新春大会を開くなどを確認し、懇親会に席を移し、十六時終了しました。成績は次のとおりです。

- 〈囲碁の部〉
- | | | | |
|-----|--------------|-----|----------|
| A 級 | 優 勝・大河原修三・勝浦 | B 級 | 窪岡輝男・勝浦 |
| | 準優勝・高田興治・勝浦 | | 宇田川一夫・幕張 |
| | 第三位・加藤岡英夫・幕張 | | 庄田 聡・銚子 |
- 〈将棋の部〉
- | | | |
|-----|--------------|----------|
| A 級 | 優 勝・窪岡芳弘・勝浦 | 磯辺哲夫・新小岩 |
| | 準優勝・結縄芳夫・新小岩 | 川上 章・銚子 |
| | 第三位・森田正雄・新小岩 | 井沢 茂・新小岩 |



熱戦がくりひろげられる 11月24日・動力車会館

勤労千葉者が苦いんぢやない

コンサートに行きたいと思っても薄給な亭主を持った私には、とてもぜいたくなことであります。そんな私に、主人がぜひとも行ってこいと言われ、とても楽しみに出席させていただきました。新谷さんの歌はとてもすばらしいもので、つい聞きほれてしまいました。思えば「フランシーヌの場合は」は十七年前、あの頃、私は歌の意味も知りませんでした。よく口ずさんだものでした。歌だけでなくお話も涙なしには聞けないものでした。

戦争を知らずに育った私には、現在イランとイラクの戦争があっても「遠い国でのこと」で片づけ、全くの無関心でありました。しかし、まだ戦争をし、悲しい顔をしている人が大勢いると思うと胸がいたみます。

「勤労千葉家族会のつどい」に参加して

日本は戦後四一年、世の中、「平和だ」と思う時もあります。しかし、世の中の動きを見てみると、平和な時代は終わり、いつ戦争がおきてもおかしくないようなことが、日常茶飯あるように思えます。その一例が国鉄改革であり、国鉄職員がいじめられている、とつくづく思います。子供のいじめは問題になるのに、大人のいじめは国が先頭に立ち称賛している。本当におかしな世の中になりました。労働運動をつぶして、戦争国家へ、なんと恐いことでしょう。

そんなことを感じる今日この頃ですが、水戸と大阪の家族会の方からの発言には励まされ、勇気づけられました。勤労

千葉だけが苦しい思いをして戦っているのではなく、多くの仲間がいて、しかも団結し合っている。それは私にとって大きな支えです。

（天台地区家族会員）

小さなことで力を合わせて

新谷のり子さんの歌を楽しみに出かけて行きました。思いおこせば十七年前に「フランシーヌの場合」を歌われたそうです。あの時代は、私の青春時代でもありました。「あの頃、一人の男性とめぐり逢った誰か」と話されるのを聞き目がしらが熱くなりました。

ごく当たり前のこととして真面目に仕事をし、生きていくだろうという期待も不安も、このような形で表われるなど想像もできませんでした。悔しい思いがわいてきました。誰にこの感情をぶつけていいのか、いつも主人に心の片隅でぶつけていた私が悔やまれました。

同じ思いをしている人たちがいることを新谷さんのお話しを聞いてとても心強く感じました。好きな歌を通して、みんなによびかけ、信念を持って活動されている彼女を見てどんな小さなことでも少しずつ力を合わせて動き始めれば、と思

（千葉運転区支部家族会員）